

平成 30 年度第 5 回海老名市市民活動推進委員会 次第

日時 平成 31 年 2 月 12 日（火）10 時 00 分～

場所 海老名市役所 7 階 701 会議室

1 開 会

2 市長挨拶

3 諮 問

4 委員長挨拶

5 議 題

- (1) 平成 30 年度補助金交付事業視察の報告・・・・・・・・・・
- (2) 平成 31 年度補助金審査申込の書類審査(10 団体の書類審査)
- (3) その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

※資料

- ・ 審査関係書類一式（事前配布_青色ファイル）
- ・ 書類審査票（当日配布）
- ・ 資格審査票（当日配布）

6 閉 会

平成 30 年度海老名市市民活動推進補助金
交付団体事業視察 報告書

1 日時

平成 30 年 12 月 9 日（日）13 時 40 分から

2 視察団体

Piccolini

補助金交付金額 100,000 円（入門区分）

3 視察事業

Piccolini の「親子で気軽にコンサート」シリーズ第 8 弾 ♪

Ring Ring Ring !

～魔法の鈴でヘンゼルとグレーテルを救おう～

4 視察場所

文化会館小ホール

5 参加者

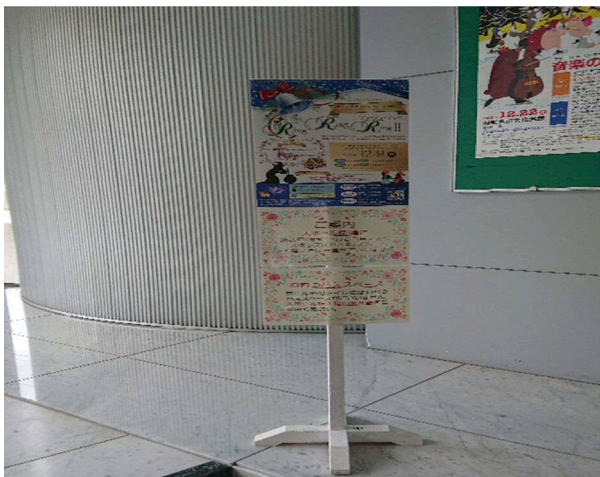
市民活動推進委員 4 名 堀尾委員長・渋谷委員・勝田委員・遠藤委員
事務局 井上

6 結果

平成 30 年度に初めて補助金を活用している団体であり、海老名市文化会館小ホールを使用して、0 歳から入場可能な三世代で楽しめるファミリークリスマスイベントを実施した。

午前・午後に各1回ずつクリスマスコンサートを実施し、480名（午前302名 午後178名）の参加があった。コンサートの冒頭では、親子でオリジナル楽器作りを行う時間を設け、参加者全員で出来上がった楽器を用いて演奏を行った。聴く・観るだけでなく、親子で一緒に歌を歌う機会や、鈴を鳴らす場面を設けるなど、参加者も能動的にコンサートに参加できる工夫が随所に見られた。事業目的である「親子で楽しみながら音楽への興味関心を高める」「生演奏の響きを体感しながら豊かな情操を養い、感性を高める」は達成できたのではないかと考える。

事業内容としては公益性が高いため、補助金交付事業に相応しいもの
と考える。



平成 30 年度海老名市市民活動推進補助金
交付団体事業視察 報告書

1 日時

平成 30 年 12 月 15 日（土）16 時 00 分から

2 視察団体

海老名で「第九」を歌おう会 実行委員会

補助金交付金額 245,000 円（発展区分）

3 視察事業

えびなベートーヴェンコンサート 第九 2018

4 視察場所

文化会館大ホール

5 参加者

市民活動推進委員 3 名 堀尾委員長・勝田委員・遠藤委員
事務局 井上

6 結果

平成 30 年度に初めて補助金を活用している団体であり、海老名市文化会館大ホールを使用して、えびなベートーヴェンコンサート 第九 2018 を実施した。

翌日に近隣市でも第九の発表会を安価に開催する予定がある中、第九の他に、県内高校合唱部やグリークラブの合唱、約 60 名のプロオーケストラ

の演奏等を実施し、約 700 名の来場者があった。

障がい者団体の出店(飲料販売)や展示室を使用した当日券の配布場所の設置、大ホール内に誘導スタッフの配置等、多くの点で配慮がなされていた。

事業内容としては公益性が高いため、補助金交付事業に相応しいもの
と考える。



1 書類審査の内容

- (1) 8 項目の基準の審査
- (2) 2 次（プレゼンテーション）審査へ進む団体の決定

2 書類審査の流れ

- (1) 書類審査は、審査申込のあった 10 団体を対象に行う。
- (2) 提出された申込書類について、団体ごとに出席推進委員は審議を行う。
※必要に応じて、事務局は申込事業内容について補足説明をする。
- (3) 審議の時間は、1 団体につき概ね 15 分～20 分程度とする。
- (4) 出席推進委員は、各団体の審議終了後、審査票に得点を記入する。
- (5) 全団体の審議終了後、集計を行い、書類審査通過団体を決定する。

3 書類審査票の記入方法

団体ごとの審議後、数分程度の記入時間を設ける。

審査基準を参考に評価し、各 5 点満点で採点を行い「点数」欄に記入する。

※整数で採点を行う(小数点は不可とする)。

4 審査のまとめ

各委員が各団体につけた得点の平均値を算出し、合否を決める。24点を合否の基準とし、24点以上は合格（書類審査通過）、24点未満は補助の対象外とする。

5 書類審査の基準

審査基準	審査の視点（説明）
公益性	多くの市民が事業の効果を受けられる事業か？
自立性	資金について、補助金だけでなく、団体の運営費を持っているか？
計画性	事業の計画に無理がなく、実現可能であるか？
	事業の予算に無理がなく、積算も適正であるか？
発展性	この補助金をきっかけに、事業や団体が発展できるか？
地域性	市民や地域のニーズを的確にとらえた、社会的に必要性のある事業であるか？
先駆性・ 独創性	新しい取り組みで、行政が実施する場合と違う手段や効果が期待できるか？
団体能力	事業を実施する上で、必要な能力（知識、人材など）を備えているか？

[点数の判断]

5点・・・良い

4点・・・どちらかというの良い

3点・・・普通

2点・・・どちらかというの悪い

1点・・・悪い

平成31年度海老名市市民活動推進補助金書類審査票（提出用）

	チェック項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		えびなえんびつの会	NPO法人 南えびなスポーツクラブ	海老名おやじの会	大谷四区親睦会	一般社団法人 海老名扇町 エリアマネジメント	男女平等市民の会 海老名	NPO法人 grand-mere	河骨保護の会	女性の活動を応援する会	ほっとフェスタ実行委員会
公益性	多くの市民が事業の効果を受けられる事業か？										
自立性	資金について、補助金だけでなく、団体の運営費を持っているか？										
計画性	事業の計画に無理がなく、実現可能であるか？										
	事業の予算に無理がなく、積算も適性であるか？										
発展性	この補助金をきっかけに、事業や団体が発展できるか？										
地域性	市民や地域のニーズを的確にとらえた、社会的に必要性のある事業であるか？										
先駆性・独創性	新しい取り組みで、行政が実施する場合は違う手段や効果が期待できるか？										
団体能力	事業を実施する上で、必要な能力（知識、人材など）を備えているか？										
合計点（40点満点）											

評価	優れている	やや優れている	普通	あまり評価できない	評価できない
点数	5点	4点	3点	2点	1点

推進委員氏名

※整数で採点お願いします（小数点は不可）

平成31年度海老名市市民活動推進補助金資格審査票

[illegible]

平成 31・32 年度市民活動推進補助金制度補助割合等の運用について

【平成 31 年度市民活動推進補助金制度】

□ 備品シールの取り扱いについて

平塚市に問い合わせたところ、シールの添付ができるもの（パソコンやプリンター等）については、テプラを添付しているが、添付が困難なもの（衣装等）については、他の形式等での添付は求めているとのことであった。また、購入した備品については、委員会や事務局等で確認などは実施していないとのことであった。

【平成 32 年度市民活動推進補助金制度】

□ 前回会議で決定したこと

- ・区分名については、入門編・継続編・自立編としていくこととなった
- ・該当する事業については、以下表のとおりとなった
- ・補助金の額については、以下表のとおりとなった
- ・総事業費に対して一定割合を設けることについては、申請団体の減少等が考えられること、小さな団体に対しては事業が成り立たない可能性も十分考えられることから見送ることとなった

□ 今後の検討事項について

① 区分毎の交付回数の決定

下表のとおり、区分に応じた交付回数を決定していきたい。

【参考】

入門編 1 回・継続編 2 回・自立編 2 回（上限総額 110 万円）

入門編 1 回・継続編 3 回・自立編 2 回（上限総額 130 万円）

入門編 1 回・継続編 2 回・自立編 3 回（上限総額 140 万円）

区分名	入門編	継続編	自立編
該当する事業	団体の自立を促進し、活動を軌道に乗せるための事業	団体が既に行っている事業を継続、又は充実を図るための事業	団体がこれまで行ってきた事業の更なる充実化を図り、且つ自立に向けたもの
補助金の額	上限 10 万円	上限 20 万円	上限 30 万円
交付回数	1 団体につき 1 回まで交付できる。 ただし、当該年度に 1 回のみの交付とする。	1 団体につき ● 回まで交付できる。 ただし、当該年度に 1 回のみの交付とする。	1 団体につき ● 回まで交付できる。 ただし、当該年度に 1 回のみの交付とする。

② 補助金の申請ルールの設定

現在、新規でも発展編を申請することが出来るが、新制度導入に伴い、新たに申請ルールを設定していきたい。

【前回会議で出たご意見】

- ・ 自立編には、入門・継続どちらか1回の交付を受けなければ申請できないこととする
- ・ 自立編で申請し、交付を受けた後は、残りの交付回数に問わず入門編や継続編への申し込みはできないこととする

③ 既に交付されている団体への経過措置の設定

現在発展編の交付を受けている団体で、交付回数が残っている団体に対しての経過措置を検討していきたい。

措置例 1 (案) : 発展編の交付回数が残っている場合は、交付回数満了まで旧制度を適用する

措置例 2 (案) : 発展編の交付回数が残っている場合は、新制度を適用する

例 : 旧制度発展編 1 回交付を受け、残り 2 回の交付が残っている場合

→ 残り2回は新制度の自立編を適用する

④ 要綱改正

上記検討事項を経て、要綱の改正案を作成していきたい。

⑤ 要綱改正スケジュール

平成 31 年 7 月 迄	市民活動推進委員会案の作成
平成 31 年 7 月	市長協議
平成 31 年 8 月	最高経営会議
平成 31 年 9 月	要綱をもとに、申請の手引書を完成
平成 31 年 12 月	申込受付開始

平成30年度 えびな還暦のつどい

★サークルや道県人会の紹介／同窓ブース

★いとしのエリーズ ミニライブ

★湯浅景元氏 講演

「人生を楽しくする運動のすすめ」



海老名市イメージキャラクター

えび～にゃ

★実行委員お楽しみ企画

「五行歌・川柳コンテスト」

還暦以外の方も大歓迎！

詳細・お申込みはHPへ→

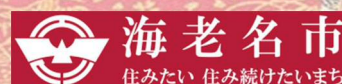


2019年3月2日(土)13:00～16:10
会場／海老名市文化会館 大ホール

主 催 海老名市／えびな還暦のつどい実行委員会

問い合わせ 実行委員会事務局(市民活動推進課)

☎046-235-4794(平日8:30～17:15)



海老名市

住みたい 住み続けたいまち

◆◇平成 30 年度えびな還暦のつどいタイムスケジュール◆◇

13 時 00 分～13 時 50 分 生きがい発見・同窓会ブース見学／受付
実行委員お楽しみ企画「五行歌・川柳コンテスト」投票

【式典開始】ホール内でのご着席をお願いします

13 時 50 分～14 時 00 分 主催者・来賓あいさつ
14 時 00 分～14 時 30 分 いとしのエリーズ ミニライブ
14 時 30 分～14 時 40 分 場面転換／ミニ企画
14 時 40 分～15 時 40 分 講演（中京大学名誉教授 湯浅景元先生）
15 時 40 分～16 時 05 分 実行委員によるお楽しみ企画
16 時 05 分～16 時 10 分 閉会



生きがい発見ブース・同窓会ブース見学

市内のサークルや団体、海老名道県人会のブースを出展します。第2の人生に向け、趣味などの生きがい発見の場探しにどうぞ！

また、海老名中学校と有馬中学校の同窓会ブースを設置します。
旧友との再会や歓談の場としてご活用ください。



いとしのエリーズ ミニライブ



年代問わず幅広く支持を集める、注目度 No. 1 の本格派サザンオールスターズトリビュートバンド。ボーカルの桑田節に本家さんからの演奏陣、ステージいっぱいダンサーが会場に華を添えます。当日は盛り上がりましょう！



講演「人生を楽しくする運動のすすめ」

今後の人生をより楽しむため、体力づくりを行いましょう！
浅田真央選手や室伏広治選手などを教え子にもつ湯浅景元先生が、
日常で気をつけたい健康ポイントなどを紹介します。

実行委員お楽しみ企画「五行歌・川柳コンテスト」

「還暦を迎えた今の気持ち」を詠んだ、
「五行歌（ごぎょうか）」「川柳」のコンテストを開催します！
当日、応募作品へ投票していただいた方を対象にした抽選会も行います。投票時間は、13：00～13：50 です！

※詳細はHPをご確認ください。

